

令和4年2月18日
February 18, 2022

大学院学生各位
To All Graduate Students

令和3年度 基盤医学特論 開講通知

Information on Special Lecture Tokuron 2021.4-2022.3

題目： クロマチンからの PCNA 除去に連係したゲノム維持
Title: Control of genome integrity by remove the PCNA from chromatin

講師： 塩見 泰史 准教授（兵庫県立大学 大学院 理学研究科）

Teaching Staff : Yasushi Shiomi (Graduate School of Life Science, University of Hyogo, Associate Professor)

日時： 令和4年 3月 24日 木曜日 16:00~17:30
Time and Date : Mar 24 (Thu) 2022, 16:00-17:30

場所： 環境医学研究所 北館 N201
The Research Institute of Environmental Medicine,
North Building, Seminar room N201

Language: 日本語 (Japanese)

Abstract

複製フォークの進行に伴いクロマチン結合する PCNA は、ゲノム維持に寄与する因子の DNA 集合と反応制御に機能する。一方、その反応の完了に伴いクロマチンから積極的に除去されることもゲノム維持には重要である。これまでに報告した PCNA 除去に機能する Elg1-RFC に加え、ユビキチンリガーゼである TRAIIP も PCNA 除去に寄与することがわかってきた。TRAIIP と Elg1-RFC は細胞周期の異なるタイミングで機能しており、細胞の増殖やゲノム維持には適切な時期にクロマチンから PCNA を除去することが重要であると推察される。現在は、TRAIIP と Elg1-RFC それぞれの機能がどのようにゲノム維持に寄与するのかについて解析を進めており、その紹介をしたい。

関係講座の連絡先：益谷央豪、環境医学研究所 分子機能薬学 ゲノム動態制御分野
(内線 東山 3871)

*事前連絡は不要です。

医学部学務課大学院係 Student Affairs Division, School of Medicine